

経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県 紀美野町

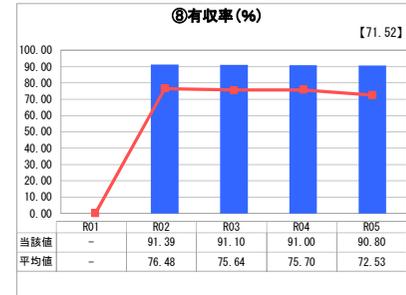
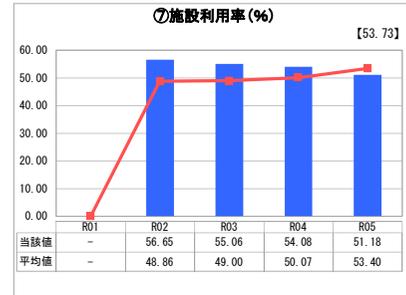
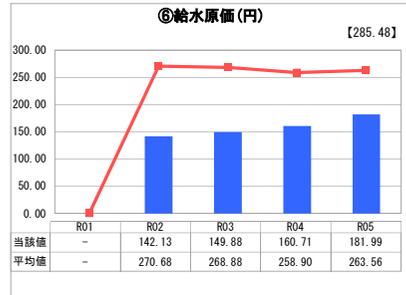
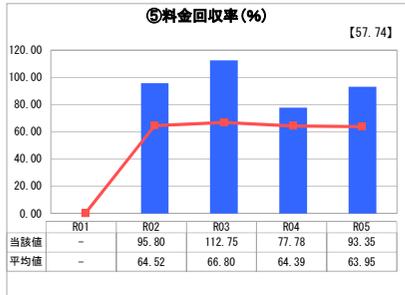
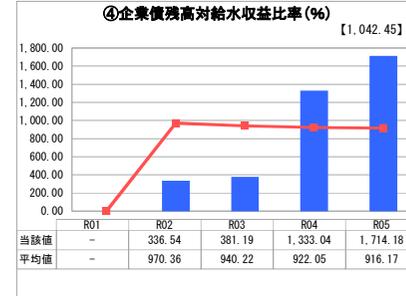
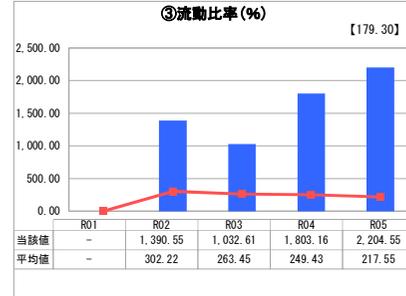
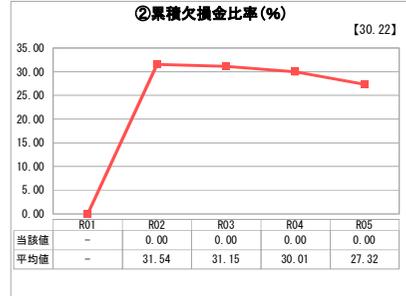
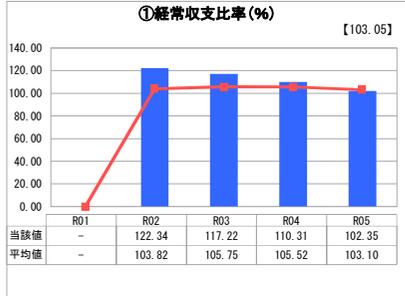
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	29.31	54.90	3,278	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,912	128.34	61.65
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,311	14.02	307.49

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

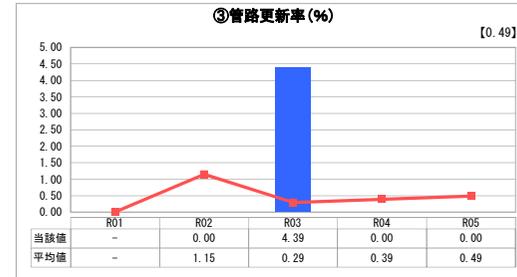
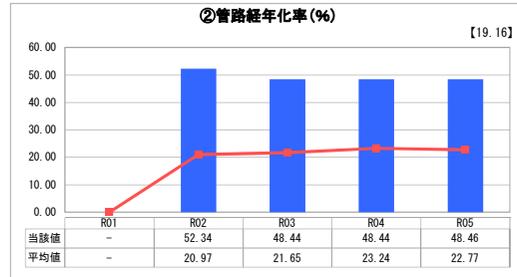
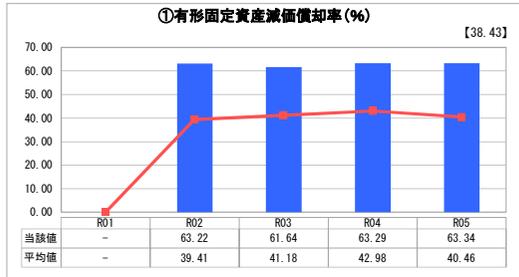
1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、令和4年度に対して経常費用（起債借入に伴う支払利息）が増加した為、前年度110.31に対して7.96ポイント下がっている。
 累積欠損金比率は、営業収益（経常収益）が減少傾向であるものの0%を維持している。
 流動比率は、浄水場更新事業に伴う消費税還付があった為、流動資産（現金及び預金）が増加し、昨年度1803.16に対し401.39ポイント増加した。
 企業債残高対給水収益比率は、昨年度に続き浄水場更新事業に伴う企業債借入を行った為、昨年度1333.04に比べ381.14ポイント増加している。
 料金回収率については、昨年度新型コロナウイルス感染症対策として水道料金の減免を行った為、今年度は給水収益が28.70ポイント増加し、前年度77.78より15.57ポイント増加しているが、料金減免については交付金による他会計補助があった為、経常収益としては0.60ポイントの減少、また経常費用は7.10ポイント増加となっている。
 給水原価は、年間総有収水量が5.30ポイント減少し、経常費用が起債借入に伴う支払利息増により7.10ポイント増加した為、前年度より21.28ポイント下がっている。
 施設利用率は人口減少による有収水量の減少に伴い、全体的に減少傾向で推移している。
 有収率は90.80%であり、昨年度91.00より0.20ポイント減少している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、今年度、構築物と車両の取得があった為、63.34%と昨年度より0.05ポイント増加している。管路経年化率は耐用年数経過延長が0.16km増加し、昨年の48.44%より0.02ポイント増加している。給水区域における総管路延長約38kmにおいて、管路経年化率が48.46%という現状を踏まえ、計画的に老朽管の布設替えを行っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

現在のところ経常収支比率は100%以上あり、黒字会計により経営しているが、料金回収率は93.40%と給水人口の減少に伴う給水収益の減少と、浄水場更新事業に伴う支払利息（経常費用）の増加により100%を下回っている。
 今後は老朽化が進む施設及び管路の更新に伴う費用の増加を踏まえ、経営戦略を修正し長期的な運営計画、健全な経営を目指していく。